



ELECOM

PRUMIE マウス M-P2UP2R シリーズ ユーザーズマニュアル

このたびは、エレコム PRUMIE マウス「M-P2UP2R」シリーズをお買い上げいただき誠にありがとうございます。
「M-P2UP2R」シリーズは、左右方向のスクロール機能を搭載した光学式マウスです。
このマニュアルでは「M-P2UP2R」シリーズの操作方法と安全にお取り扱いいただくための注意事項を記載しています。ご使用前に、必ずお読みください。
また、このマニュアルを読み終わったあとは、大切に保管しておいてください。
※このマニュアルでは一部の表記を除いて「M-P2UP2R」シリーズを「本製品」と表記しています。

■絵表示の意味

	警告	この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などによる死亡や大けがなど人身事故の原因になります。
	注意	この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり、他の機器に損害を与えたりすることがあります。

- 「してはいけない」ことを示します。
- 「しなければならないこと」を示します。
- 「注意していただきたいこと」を記載しています。
- 「お読みいただきたいこと」や「参考にしていただきたいこと」を記載しています。
- 「知っている」と便利なことを記載しています。

パッケージ内容の確認

本製品のパッケージには次のものが入っています。作業を始める前に、すべてが揃っているかを確認してください。なお、梱包には万全を期しておりますが、万一不足品、破損品などがございましたら、すぐにお買い上げの販売店もしくはエレコム総合インフォメーションセンターまでご連絡ください。

- マウス本体(コード長さ 1.5m) 1 個
- PS/2 変換コネクタ 1 個
- ドライバ CD 1 枚
- ユーザーズマニュアル(このマニュアルです) 1 枚

安全にお使いいただくために

けがや故障、火災などを防ぐために、ここで説明している注意事項を必ずお読みください。

	警告	本製品が発熱している、煙がでている、異臭がしているなどの異常があるときや、本製品に水や金属片などの異物が入ったときは、すぐに使用を中止し、本製品をパソコンから取り外してください。そのあとで、お買い上げの販売店またはエレコム総合インフォメーションセンターまでご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
		本製品を落としたり、ぶつけたりしないでください。万一、本製品が破損した場合は、すぐに使用を中止し、本製品をパソコンから取り外してください。そのあとで、お買い上げの販売店またはエレコム総合インフォメーションセンターまでご連絡ください。破損したまま使用すると、火災や感電の原因になります。
		本製品の分解や改造、修理などをご自分で行なわないでください。火災や感電、故障の原因になります。また、故障時の保証対象外となります。
		本製品を火中に投入しないでください。破裂により火災やけがの原因になります。
		コネクタはぬれた手で抜き差ししないでください。また、加工したり、無理に曲げたりしないでください。火災や感電の原因になります。
		本製品の底面にある光学式センサー(赤い光)を直接見ないようにしてください。目を痛めることがあります。また、このセンサーを汚したり、傷をつけたりしないでください。

	注意	本製品を次のようなところには置かないでください。 ●日のあたる自動車内、直射日光のあたる場所、暖房器具の周辺など高温になる場所 ●多湿な場所、結露をおこす場所 ●平坦でないところ、振動が発生する場所 ●マグネットの近くなどの磁場が発生する場所 ●ほこりの多いところ
		本製品は防水構造ではありません。水などの液体がかからないところで使用または保存してください。雨、水しぶき、ジュース、コーヒー、蒸気、汗なども故障の原因となります。

本製品を使用する場合の注意事項

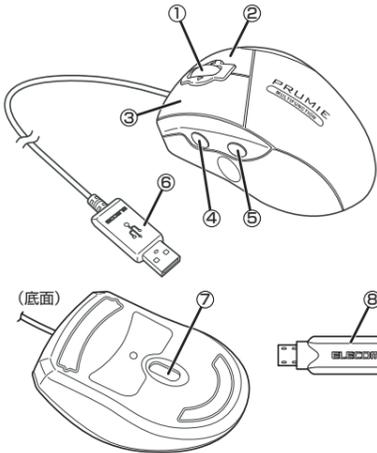
- 本製品の誤動作によって、重大な影響を及ぼす恐れのある機器では使用しないでください。
- ガラスなどの透明な場所や鏡など強く反射をする場所で使用すると、光学式センサーが正しく機能せず、マウスカーソルの動きが不安定になります。
- 長時間マウスを使用しない場合は、パソコンから取り外してください。
- 本製品を廃棄するときは、お住まいの地域の条例および法令に従って処分してください。

お手入れのしかた

本製品が汚れたときは、乾いたやわらかい布でふいてください。

- シンナー、ベンジン、アルコールなど揮発性の液体を使用すると、変質や変色を起こす恐れがあります。

各部の名称とはたらき



①チルトホイール

指で前後に回転させたり、左右に倒したり、ボタンのように押すことで、パソコンの操作ができます。
※左右スクロール機能を使用するには、付属のドライバ CD から PRUMIE マウス用ドライバをインストールしてください。
☞「左右スクロールやボタン割り当て機能を利用する」(裏面)

②右ボタン

パソコンの操作の右クリックに使います。

③左ボタン

パソコンの操作の左クリックに使います。

④ファンクションボタン(A)

⑤ファンクションボタン(B)

ボタンを押すと、割り当てた機能を実行します。
※このボタンの機能を使用するには、付属のドライバ CD から PRUMIE マウス用ドライバをインストールしてください。
☞「左右スクロールやボタン割り当て機能を利用する」(裏面)

⑥USB コネクタ

パソコンの USB ポートに接続します。

⑦光学式センサー

マウス本体に電源が入ると赤く点灯します。マウス本体を動かしたときに、このセンサーによってマウスの動きが検知されます。
※センサーの光を直接見ると目を痛めることがありますので注意してください。

⑧PS/2 変換コネクタ

PS/2 ポートに接続するとき 사용합니다。

- ノートパソコンの場合は、PS/2 変換コネクタを使用できません。USB ポートにマウスを取り付けてください。

マウスを取り付ける

本製品をはじめてご使用になるときは、次の順でマウスのドライバをインストールする必要があります。

1 Windows 標準マウスドライバをインストールする

2 PRUMIE マウス用ドライバをインストールする

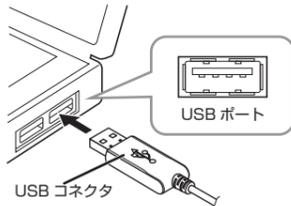
Windows 標準マウスドライバがインストールされると、本製品が使用できるようになります。ただし、左右スクロールやボタン割り当て機能を利用するには、PRUMIE マウス用ドライバのインストールが必要です。

本製品は、パソコンの USB ポートまたは PS/2 ポートに取り付けます。取り付けるポートの説明をお読みください。

- ノートパソコンでは PS/2 変換コネクタを使用できません。USB ポートにマウスを取り付けてください。
- Windows® 2000/98 の場合は、今までお使いになっていたマウスを接続したままにしておいてください。あとの「Windows 標準マウスドライバをインストールする」でマウスの操作が必要になる場合があります。
- 今までお使いになっていたマウスがメーカーオリジナルのドライバや設定ユーティリティなどを利用している場合は、あらかじめアンインストールしておいてください。他社製ドライバなどがインストールされていると本製品が正常に動作しないことがあります。アンインストール方法については、今までお使いのマウスの説明書をお読みください。

USB ポートに取り付ける場合

- 1 パソコンを起動します。
 - Windows Vista®, Windows® XP の起動時にログオンするアカウント(ユーザー名)を尋ねられた場合は、必ず「コンピュータの管理者」権限があるアカウントでログオンしてください。
 - Windows® 2000 の場合は、Administrator の権限をもつユーザーでログオンしてください。
 - Windows® が起動し、操作可能な状態になるまでお待ちください。
- 2 USB コネクタをパソコンの USB ポートに差し込みます。



- USB コネクタの向きと挿入場所を十分に確認してください。
- USB ハブ経由でも使用できます。ただし、USB ハブの電源供給能力によっては本製品が動作しない場合があります。

3 このあとは、OS により動作が異なります。

- Windows Vista®, Windows® XP/Me の場合
Windows 標準マウスドライバが自動的にインストールされます。
☞「左右スクロールやボタン割り当て機能を利用する」(裏面)へ進みます。
- Windows® 2000 の場合
・「新しいハードウェアの検索ウィザード」画面が表示されなかった場合は、Windows 標準マウスドライバが自動的にインストールされます。
☞「左右スクロールやボタン割り当て機能を利用する」(裏面)へ進みます。
・「新しいハードウェアの検索ウィザード」画面が表示された場合は、Windows 標準マウスドライバを手動でインストールする必要があります。
☞次の「Windows 標準マウスドライバをインストールする」へ進みます。
- Windows® 98 の場合
「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面が表示されます。Windows 標準マウスドライバを手動でインストールする必要があります。
☞次の「Windows 標準マウスドライバをインストールする」へ進みます。

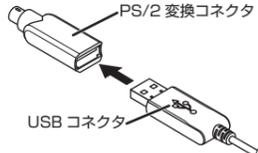
■マウスを取り外す場合

本製品はホットプラグに対応しています。USB ポートにマウスを取り付けて使用している場合は、Windows® が起動した状態でも取り外すことができます。

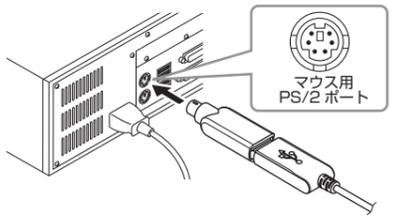
- Windows® の起動中に何度も抜き差しをくり返すと、動作が不安定になることがあります。このような場合は、Windows® を再起動してください。

PS/2 ポートに取り付ける場合

- 1 USB コネクタを本製品に付属の PS/2 変換コネクタに差し込みます。



- 2 PS/2 変換コネクタをパソコンのマウス用 PS/2 ポートに差し込みます。



- PS/2 変換コネクタの向きと挿入場所を十分に確認してください。

3 パソコンを起動します。

- Windows Vista®, Windows® XP の起動時にログオンするアカウント(ユーザー名)を尋ねられた場合は、必ず「コンピュータの管理者」権限があるアカウントでログオンしてください。
- Windows® 2000 の場合は、Administrator の権限をもつユーザーでログオンしてください。
- Windows® が起動し、操作可能な状態になるまでお待ちください。

- 4 Windows 標準マウスドライバが自動的にインストールされます。
 - ☞「左右スクロールやボタン割り当て機能を利用する」(裏面)へ進みます。

次のような画面が表示された場合は、パソコンを再起動する必要があります。[今すぐ再起動する(N)]または[はい(Y)]をクリックします。

※ボタンをクリックできない場合は、「トラブルシューティング」(裏面)の「キーボードでの操作」をご覧になり、キーボードを使って操作してください。

- Windows Vista® の場合
Microsoft Windows
このデバイスをインストールするにはコンピューターを再起動する必要があります。
再起動をせずに、続けてこのデバイスを手動でインストールするか、プログラムをインストールする必要があります。
[今すぐ再起動する(N)] [後で再起動する(O)]
- Windows® XP の場合
新しいハードウェアの追加ウィザード
この新しいハードウェアをインストールするには、このデバイスが自動的にインストールされませんでした。
[今すぐ再起動する(N)] [後で再起動する(O)]

■マウスを取り外す場合

パソコンの電源を切ってから取り外してください。

- パソコンの電源が入っているときに抜き差しすると、故障の原因になります。

Windows 標準マウスドライバをインストールする(Windows® 2000/98 のみ)

Windows® 2000 の一部の環境と Windows® 98 では、USB コネクタを取り付けたあとにウィザード画面が表示されます。ウィザード画面が表示された場合は、次の各 OS の説明をお読みになり Windows 標準マウスドライバをインストールしてください。

キーボードでの操作

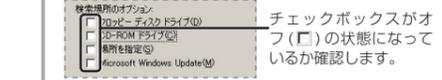
Windows® 2000/98 では Windows 標準マウスドライバのインストール時にマウスの操作が必要になります。マウスまたはタッチパッドなどが無いパソコンをご使用の場合は、下記をご覧ください。キーボードを使って操作してください。

[Tab] : 項目やボタンを移動します。
[1]/[↓] : 項目に選択肢がある場合に、選択肢の間を移動します。
[スペース] : キーを押すたびにチェックボックスをオン/オフします。
※ [F5]、[OK]、[キャンセル] などのボタンを実行したい場合は、[Enter] を押します。

Windows® 2000 で「新しいハードウェアの検索ウィザード」画面が表示された場合

Windows® 2000 では、ご使用の環境によって USB コネクタを取り付けたあとに「新しいハードウェアの検索ウィザード」画面が表示されることがあります。その場合は、[次へ(N)] をクリックし、メッセージにしたがって Windows 標準マウスドライバをインストールしてください。

- 「新しいハードウェアの検索ウィザード」画面が表示されなかった場合は、手動でのインストールは不要です。
- インストール途中で、「ドライバファイルの特定」画面が表示された場合は [検索場所のオプション] のチェックをすべてオフにして、次へ進んでください。



- ☞ Windows 標準マウスドライバのインストールが完了したら、「左右スクロールやボタン割り当て機能を利用する」(裏面)へ進みます。

Windows® 98 の場合

Windows® 98 では、USB コネクタを取り付けたあとに「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面が表示されます。次の手順にしたがって、手動で Windows 標準マウスドライバをインストールしてください。

- 「Windows® 98 オペレーティングシステム」の CD-ROM が必要になる場合がありますので、あらかじめご用意ください。
- Windows® 98 プリインストールモデルのパソコンの場合
パソコンのご購入時に添付されている「Windows® 98 CD-ROM」または「Windows® 98 Second Edition CD-ROM」をご用意ください。
このような表記の CD-ROM がない場合は、5の②で「ファイルのコピー元」に CD-ROM ドライブを指定する代わりに「C:\windows\options\cabs」フォルダを指定してください。
- Windows® 98 のパッケージをご購入されている場合
パッケージに入っている「Windows® 98」の CD-ROM をご用意ください。

- 1 [次へ(N)] をクリックします。



- 2 「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する」を選択し、[次へ(N)] をクリックします。



- 3 すべてのチェックボックスをオフにし、[次へ(N)] をクリックします。



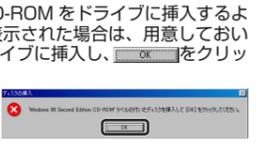
チェックボックスがオフ(O)の状態になっているか確認します。

キーボードで操作している場合で、「[検索場所の指定]」のチェックボックスがオフ(O)の状態になっているか確認します。

- 4 検索するドライバファイルとして「USB ヒューマンインターフェイスデバイス」が表示されていることを確認し、[次へ(N)] をクリックします。



- 5 Windows® 98 CD-ROM をドライブに挿入するようにメッセージが表示された場合は、用意しておいた CD-ROM をドライブに挿入し、[OK] をクリックします。



次の⑥を参照してフォルダを指定してください。

- プリインストールモデルのパソコンをご使用の場合は、次の⑥を参照してフォルダを指定してください。
- Windows® 98 CD-ROM の画面が表示された場合は、画面右上の[X]をクリックして画面を閉じてください。

[OK] をクリックしたあと、「ファイルのコピー」画面が表示された場合

- ①または②のいずれかの方法で「ファイルのコピー元」を指定します。



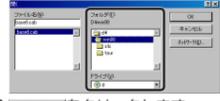
- ※プリインストールモデルで Windows® の CD-ROM が添付されていなかった場合は、CD-ROM ドライブのドライブ名の代わりに「c:\windows\options\cabs」フォルダを指定してください。
- ※コピー先の日付が、CD-ROM 内のファイルより新しい場合は、そのまま新しい日付のファイルを使用してください。

- ①ドライブ / フォルダ名を入力する方法
1. 「ファイルのコピー元」にキーボードで CD-ROM ドライブのドライブ名と「win98」を入力します。
例: CD-ROM を D ドライブに入れた場合
D:\WIN98(小文字でも可)

※ドライブ名に続いて「:]」を入力し、さらに「WIN98」を入力します。

- 2 [OK] をクリックします。

- ②参照⑥... をクリックする方法
1. 「ファイルのコピー元」画面で、参照⑥... をクリックします。
2. 「ドライブ」で CD-ROM を入れたドライブを選択し、「フォルダ」で「win98」フォルダを選択します。



- 3 [OK] をクリックします。
- 4 「ファイルのコピー」画面の [OK] をクリックします。

- 6 [完了] をクリックします。



- ご使用の環境によっては、[完了] をクリックしたあと、Windows® 98 CD-ROM を取り出すようにメッセージが表示されることがあります。5と5の⑥を参照してインストール作業を続けてください。

これで、Windows 標準マウスドライバのインストールは完了です。Windows® 98 の CD-ROM を取り出してください。
☞「左右スクロールやボタン割り当て機能を利用する」(裏面)へ進みます。



左右スクロールやボタン割り当て機能を利用する

左右方向のスクロール機能やボタン割り当て機能を利用するには、PRUMIE マウス用ドライバをインストールする必要があります。

PRUMIE マウス用ドライバをインストールする

- PRUMIE マウス用ドライバをインストールする前に・・・
- 本製品を取り付けておいてください。詳細は、「マウスを取り付ける」(表面)を参照してください。
- 当社、他社のマウスユーティリティソフトがインストールされている場合は、アンインストールを行ってください。
- すべての Windows® プログラム(アプリケーションソフト)を終了することを推奨します。

1 付属のドライバ CD をドライブに挿入します。

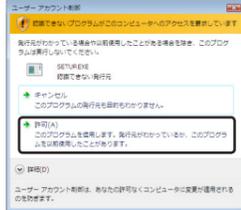
- Windows Vista® の場合

1. 「自動再生」画面が表示された場合は、「SETUP.EXE の実行」をクリックします。



「自動再生」画面が表示されない場合は、「スタート」ボタン→「コンピュータ」の順にクリックし、ドライバ CD を挿入したドライブをダブルクリックします。(CD-ROM の内容が表示されたときは、「setup.exe」をダブルクリックします。)

2. 「ユーザー アカウント制御」画面が表示されたときは、「許可」をクリックします。



ドライバのインストールが 2 回目以降の場合は、「ユーザー アカウント制御」画面の内容が異なります。「実行」ボタンをクリックします。



- Windows® XP/Me/2000/98 の場合
- 自動的にセットアッププログラムが起動します。

セットアッププログラムが起動しないときは、マイコンピュータからドライバ CD を挿入したドライブをダブルクリックします。(CD-ROM の内容が表示されたときは、「setup.exe」をダブルクリックします。)

※以降のセットアッププログラムの画面は OS によって異なりますが、手順は同じです。

2. 「日本語」が選択されていることを確認し、「次へ」をクリックします。



3. 「次へ」をクリックします。



4. 「使用許諾契約の全条項に同意します」を選択し、「次へ」をクリックします。



使用許諾契約の内容をよくお読みください。

5. マウスを取り付けているポートの種類を選択し、「次へ」をクリックします。

- ポートの種類
- USB ポート : USB (Universal Serial Bus) Interface
 - PS/2 ポート : PS/2 Interface



ノートパソコンでは PS/2 変換コネクタを使用できません。USB ポートにマウスを取り付けてください。

6. 「次へ」をクリックします。



インストール先のフォルダを変更する場合は、「参照」をクリックし、インストール先のフォルダを指定します。

7. 「インストール」をクリックします。



8. 「はい、今すぐコンピュータを再起動します。」が選択されていることを確認し、ドライバ CD を取り出してから、「完了」をクリックします。



「いいえ、後でコンピュータを再起動します。」を選択した場合は、手でパソコンを再起動してください。

パソコンを再起動すると、通知領域(タスクバー)にが表示されます。これで PRUMIE マウス用ドライバのインストールは完了です。

- 「チルトホイールやボタンに機能を割り当てる」を参照し、各機能を設定してください。
- 「スクロールの動作を確認する」を参照し、チルトホイールが正しく動作するかを確認してください。

PRUMIE マウス用ドライバをインストールしたときにマウスを取り付けていたポートで、マウスを使用してください。別のポートでマウスを使用する場合は、そのポートでマウスを取り付ける(表面)からやり直してください。

チルトホイールやボタンに機能を割り当てる

左右スクロールやボタン割り当て機能は、次の方法で「マウスのプロパティ」画面を表示し、設定します。

1. 通知領域(タスクバー)に表示されているを右クリックし、表示されたメニューから[ELECOM Mouse Driver の設定]をクリックします。



「マウスのプロパティ」画面が表示されます。

2. お好みに合わせてボタンやチルトホイールなど、マウスの設定をします。

1. 「ボタン」を選択します。

2. 「機能」を選択します。

※ 選択した機能によっては、「設定」がクリック可能になります。クリックするとダイアログボックスが表示されますので、詳細を設定してください。



※ 画面をクリックして、ボタンと機能を選択できます。

3. 「OK」をクリックします。

通知領域(タスクバー)に表示されているを右クリックし、「終了」をクリックすると、PRUMIE マウス用ドライバが終了し、左右スクロール機能やボタン割り当て機能が使用できなくなります。その場合は、「スタート」ボタンから[(すべての)プログラム]→[ELECOM MOUSE DRIVER]→[ELECOM MOUSE DRIVER]の順にクリックし、PRUMIE マウス用ドライバを起動してください。

スクロールの動作を確認する

PRUMIE マウス用ドライバが正常にインストールされると、チルトホイールで左右スクロールができるようになります。ここでは、Windows® の「メモ帳」でマウスのスクロールが正常に動作しているかを確認します。

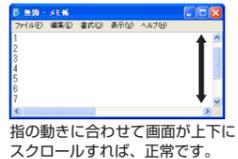
1. 「スタート」ボタンから[(すべての)プログラム]→[アクセサリ]→[メモ帳]の順にクリックします。「メモ帳」が起動します。

2. メモ帳の画面の高さを 10 程度表示できる大きさにします。文字の入力と改行をくり返します。 ※ 画面の例では 0~9 の数字を順番に入力して改行し、最後の行は左右スクロールの確認ができるよう、多くの文字を入力しています。



表示できる行数、文字数を超えるとスクロールバーが表示されます。

3. マウスのチルトホイールを前後に動かします。



指の動きに合わせて画面が上下にスクロールすれば、正常です。

4. マウスのチルトホイールを左右に倒します。



指の動きに合わせて画面が左右にスクロールすれば、正常です。

スクロール機能に対応していない一部のアプリケーションでは、チルトホイールを操作しても動作しない場合があります。

トラブルシューティング

正常に動作しないとき

■ マウスを動かしても画面上のマウスポインタが動かない、動作が不安定

→ 使用している場所の光の反射率が光学式マウスに適していない可能性があります。

→ マウスを USB ポートに取り付けたとき、Windows 標準マウスドライバが正しくインストールされず、本製品が Windows® に「不明なデバイス」として登録されている可能性があります。本製品は通常、USB ポートに取り付けた場合は「USB ヒューマンインターフェイス デバイス」として登録されます。「不明なデバイス」になっている場合は、「不明なデバイス」の削除方法を参照し、デバイス マネージャから「不明なデバイス」を削除したあと、「マウスを取り付ける」(表面)からやり直してください。

→ ノートパソコンのタッチパッドなど、他のドライバと融合している可能性があります。本製品を正常に使用するには、タッチパッドのドライバを削除する必要があります。ただし、ドライバを削除するとタッチパッドが使用できなくなったり、タッチパッド専用の機能が使用できなくなる可能性があります。詳しくはパソコンのメーカーにお問い合わせください。

■ マウスカーソルは動くが、チルトホイールでスクロールしない

→ スクロール機能に対応していない一部のアプリケーションでは、チルトホイールを操作しても動作しない場合があります。

■ マウスを接続していると、パソコンの電源を切っても光学式センサー部分が光ったままになる

→ パソコンの電源が切れたあとでも待機電力が流れている場合、パソコンの仕様によっては光学式センサーが光る場合があります。これは、パソコンの仕様によるもので、マウスの異常ではありません。マウスをパソコンから取り外すか、パソコン本体の電源プラグをコンセントを抜いてください。パソコン本体の電源プラグをコンセントを抜かないでマウスへの待機電力を止める方法は、パソコンメーカーに確認してください。(仕様上、止められないパソコンもあります。)

「不明なデバイス」の削除方法

Windows 標準マウスドライバが正しくインストールされず、「不明なデバイス」として登録されているときは、デバイス マネージャから「不明なデバイス」を削除したあと、「マウスを取り付ける」(表面)からやり直してください。

- 「不明なデバイス」が複数ある場合、削除をはじめる前にどの「不明なデバイス」が本製品の認識情報であるかを確認してください。本製品を一度パソコンから取り外してみ、
- 「不明なデバイス」の表示が消えれば、それが本製品の認識情報です。
- 以下の手順どおりにドライバを削除しても「不明なデバイス」が消えない場合は、パソコンに何らかの問題が発生している可能性がありますので、パソコンメーカーにお問い合わせください。

本製品をパソコンに接続した状態で、次の手順に従って「不明なデバイス」を削除してください。

1. デバイスマネージャを表示します。

- Windows Vista® の場合
- 「スタート」ボタンをクリックし、「コンピュータ」を右クリックします。
 - 「[プロパティ]」をクリックします。

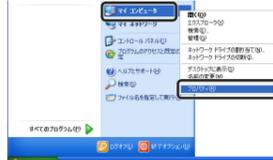


3. 「デバイス マネージャ」をクリックします。



- Windows® XP/2000 の場合

- Windows® XP では、「スタート」ボタンをクリックし、「マイ コンピュータ」を右クリックします。Windows® 2000 では、デスクトップにある「マイ コンピュータ」アイコンを右クリックします。
- 「[プロパティ]」をクリックします。



※ 画面例は Windows® XP の場合

3. 「ハードウェア」タブをクリックします。

ユーザーサポートについて

【よくあるご質問とその回答】
www.elecom.co.jp/support
こちらから「製品 Q&A」をご覧ください。

【お電話・FAX によるお問い合わせ(ナビダイヤル)】
エレコム総合インフォメーションセンター
TEL : 0570-084-465
FAX : 0570-050-012

【受付時間】
9:00 ~ 19:00
年中無休

保証規定

■保証内容

1. 弊社が定める保証期間(本製品ご購入日から起算されます。)内に、適切な使用環境で発生した本製品の故障に限り、無償で本製品を修理または交換いたします。

■無償保証範囲

- 以下の場合には、保証対象外となります。
 - 保証書および故障した本製品をご提出いただけない場合。
 - 保証書に販売店ならびに購入年月日の記載がない場合、またはご購入日が確認できる証明書(シール・納品書など)をご提示いただけない場合。
 - 保証書に偽造・改変などが認められた場合。
 - 弊社および弊社が指定する機関以外の第三者ならびにお客様による改造、分解、修理により故障した場合。
 - 弊社が定める機器以外に接続、または組み込んで使用し、故障または破損した場合。
 - 通常一般家庭内で想定される使用環境の範囲を超える温度、湿度、振動等により故障した場合。
 - 本製品を購入いただいた後の輸送中に発生した衝撃、落下等により故障した場合。
 - 地震、火災、落雷、風水害、その他の天変地異、公害、異常電圧などの外的要因により故障した場合。
 - その他、無償修理または交換が認められない事由が発見された場合。

■修理

- 修理のご依頼は、本保証書の本製品に添えて、お買い上げの販売店にお持ちいただくか、弊社修理センターに送付してください。
- 弊社修理センターへご送付いただく場合の送料はお客様の負担となります。また、ご送付いただく際、適切な梱包の上、紛失防止のため受渡の確認ができる手段(宅配や簡易書留など)をご利用ください。尚、弊社は運送中の製品の破損、紛失については一切の責任を負いかねます。
- 同機種での交換ができない場合は、保証対象製品と同等またはそれ以上の性能を有する他の製品と交換させていただきます。
- 有償、無償にかかわらず修理により交換された旧部品または旧製品等は返却いたしかねます。
- 記憶メディア・ストレージ製品において、修理センターにて製品交換を実施した際にはデータの保全は行わず、全て初期化したします。記憶メディア・ストレージ製品を修理に出す前には、お客様ご自身でデータのバックアップを取っていただきますようお願い致します。

■免責事項

- 本製品の故障について、弊社に故意または重大な過失がある場合を除き、弊社の債務不履行および不法行為等の損害賠償責任は、本製品購入代金を上限とさせていただきます。
- 本製品の故障に起因する派生的、付随的、間接的および精神的損害、逸失利益、ならびにデータ損害の補償等につきましては、弊社は一切責任を負いかねます。

■有効範囲

- この保証書は、日本国内においてのみ有効です。
- 本保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

PRUMIE マウス M-P2UP2R シリーズ
ユーザーズマニュアル 2007年11月15日 第2版
エレコム株式会社

- 本書の著作権は、エレコム株式会社が保有しています。
- 本書の内容の一部または全部を無断で複製/転載することを禁止させていただきます。
- 本書の内容に関するご意見、ご質問がございましたら、エレコム総合インフォメーションセンターまでご連絡願います。
- 本製品の仕様および外觀は、製品の改良のため予告なしに変更する場合があります。
- 実行した結果の影響につきましては、上記の理由にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品のうち、戦略物資または業務に該当するもの輸出にあたっては、外為法に基づく輸出または役務取引許可が必要です。
- Microsoft®、Windows®、Windows Vista® は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- その他本書に記載されている商品名/社名などは、一般に商標ならびに登録商標です。

©2007 ELECOM Co., Ltd. All Rights Reserved.
M43-WC-2

ここに保証書シールをお貼りください。